



第 37 号

昭和39年11月5日印刷
昭和39年11月10日発行

発行所
宇都宮市旭町1-3, 427
宇都宮商工会議所
電話(3) 3,071 3,072 番
3,073 3,074 番

編集者兼
発行者 藤生善之助
印刷者 秋場栄吉
宇都宮市旭町2丁目
印刷所 三共印刷株式会社
電話(4) 4,106番(代)

昭和四十年年度財政経済政策同税制改正並に中小企業の 年末金融対策に關し日商より各意見要望書提出さる

日本商工会議所においては、過日の通常会員総会において提案議決せる、次の各意見並に要望書を政
府並に關係当局宛それぞれ提出いたしました。

昭和四十年年度財政経済政策に 關する意見

日本商工会議所

わが国の経済は本格的な開放体制に移行し、国際経済との
關連がますます増大しているのであるが、世界経済の好
況と昨年末以来実施の景気調整措置のもとに、輸出が著し
く増加し、国際収支の急速な改善を見つつある。しかし、
生産および設備投資の堅調、輸入がなお高水準にあること
など、今後の景気調整は極めて慎重な配慮を要する段階に
あるものと考ええる。

しかして明年度においては、輸出の伸びの鈍化、輸入増
大の傾向など国際収支の均衡が懸念される情勢にあり、ま
た、物価も消費者米価、公共料金の改訂など相当の上昇が
予想されるので、明年度の財政経済政策は、輸出振興を中
心とし、経済の安定成長をはかるとともに高度成長により
もたらされたひずみの是正、なかならず中小企業等の振興
に施策を集中することが最も緊要であると考ええる。

以上のような観点から、明年度の財政経済政策に關し次
の如き意見を開陳し、政府および国会の適切な施策を要望
する次第である。

1 財政の規模と減税

(1) 明年度の一般会計の財政規模は、公債を發行せず、
租税等の自然増収の範囲内で、減税および歳出の当然
増と新規経費をまかなうものとし、引続き健全均衡財
政を堅持すること。

(2) 明年度の租税等の自然増収は四、五〇〇億円程度(例
年の如くかなりの安全率を見たもので、実際はこれを
相当超えるものと思われる)と見込まれているが、少
なくともその三分の一は減税にあてること。減税は所
得税、法人税等の直接税の軽減を中心とし、とくに開
放体制下における産業の国際競争力の増大と企業の体
質強化を促進するため、企業課税の減税に重点を置く
こと(税制改正については別途意見を提出)。

2 輸出の振興と国際収支の均衡

(3) 既定経費の止むをえない増加と緊要な新規事業費に
必要な財源をまかなうため、既定経費の徹底的な整理
節約とくに不急不要の補助金の整理と行政の改革、簡
素化を断行すること。

3 物価の安定

(1) 輸出構造の高度化をはかり、輸出の振興を推進する
ため、輸出貿易および輸出産業に対し傾斜金融を行な
うこととし、これに必要な財政資金を投入するととも
に、輸入原材料の関税還付制度を実施する等輸出税制
をさらに改善すること。

(2) 貿易外収支の恒常的赤字を改善するため、とくに海
運事業について外航船舶の増強を、観光事業について
外客の積極的誘致をはかること。

(3) 貿易振興の障害となっている諸外国のわが国に対す
る通商上の差別待遇の撤廃を期するため、政府間およ
び民間の経済外交をさらに推進するとともに、低開発
国とくに東南ア諸国に対し開発輸入、借款供与を積極
的に行ない、経済協力を促進すること。なお、中小企
業の海外進出を促進するため経済協力基金に特別枠を
設ける等その所要資金を確保すること。

(1) 消費者米価および公共料金についても、その値上げ
中を極力縮小するとともに、前者については米の管理
制度の根本的改革を、後者については公共企業経営の
徹底的な合理化を断行すること。

(2) 物価上昇寄与率の最も大きい食料関係物資について
その選択的拡大生産、輸入の自由化を推し進めるとと
もに、食料を含め消費物資一般について流通の合理化
中小企業の生産性の向上に強力な施策を講ずること。

(3) 過大な賃上げが物価の高騰を来たすのみならず、売
上上昇利益減退という企業の経営基盤の弱体化を招来
する情勢に堪がみ、賃金引上げと物価上昇の悪循環
をたちきり、企業の国際競争力を確保するため、生産
性向上を上回る賃金水準の上昇を防止するよう政府お

よび労使が真剣な努力を払うとともに、量産体制の進展などにより生産性の向上が著しい部門においては、その生産性向上の成果の一部を価格の引下げに振向け物価水準の安定に資すること。

4 産業基盤の整備

産業の国際競争力の基盤を強化するため、道路、港湾工業用水等の産業関連施設の整備拡充と地域開発の促進を総合的重点的に実施するとともに研究開発、新技術企業化の促進等科学技術の振興をはかること。一方、産業公害対策については、経営者側の社会的責任の自覚による施設の整備とあいまって、公害防止のための技術研究所の新設、公害防止施設に対する助成等の施策を強化すること。

5 中小企業の振興

(1) 中小企業の近代化を促進するため、政府関係中小企業金融機関の資金の増大と財政支出による近代化および高度化資金の増額について画期的な措置を講ずること。
(2) (1)の措置と併せて政府関係金融機関の金利を引下げるとともに、団地造成等の高度化資金の貸付率を引上げ、償還期間を延長すること。
(3) 小規模事業者の老後の生活安定と廃業等の事故に備えるため、事業主の共済制度を是非とも実現すること。

6 雇用政策の強化

(1) 労働力の全面的な活用が今後のわが国経済の発展にとって極めて重要であるのにかんがみ、(イ)産業構造の高度化に伴う労働移動の円滑化、(ロ)中高年令層の雇用促進、(ハ)作業の機械化、労働能率の向上などによる労働の節約、(ニ)家庭婦人の労働力化等の施策を推進すること。

(2) 中小企業における雇用の確保と安定をはかるため、これに対する職業紹介、職業訓練等の施策を強化するとともに中小企業従業員の福利厚生施設設置に必要な長期低利資金の貸付を大巾に増額すること。

7 住宅政策の推進

(1) 公団および公共団体の住宅建設と公庫の住宅金融の画期的な拡充を行なうこと。
(2) (1)の施策のほか、民間の住宅建設を促進するため、(イ)住宅組合制度の改善、(ロ)企業における従業員持家助成制度の活用、(ハ)住宅貯蓄に対する所得控除等の強力な施策を講ずること。
(3) 住宅建設の障害となっている地価の高騰を抑制するため、住宅用地の先行造成、用地の標準価格の表示、国有公有地の活用、農地転用の緩和等の積極的な措置を講ずること。

昭和四十年年度税政改正に関する意見

日本商工会議所

明年度の財政の規模と税制改正に関する基本方針としては、別途「昭和四十年年度財政経済政策に関する意見」において述べた如く、健全均衡財政のもとに、既定経費の縮減と新規事業の重点的実施をはかり、租税等の自然増収の少なくとも三分の一は減税にあてるべきであると考える。しかして、減税は、所得税、法人税等の直接税の軽減を中心とし、とくに開放経済下企業の経営基盤ならびに国際競争力の強化のため企業課税の減税に重点をおくべきである。以上のような見地から、明年度税制改正に当って下記項目の減税を実現せられるよう要望するものである。

記

1 国 税

(1) 法 人 税

企業の経営基盤ならびに国際競争力の強化をはかるため、法人税について次の減税を行なうこと。

(イ) 普通税率を三五％に、軽減税率を三〇％に引下げるとともに、軽減税率の適用範囲を五〇〇万円に引上げること。

(ロ) 同族会社の大部分を占める中小企業の体質改善と資本蓄積を促進するため、一定期間を限って留保金課税を免除すること。

(2) 所 得 税

中堅層以下の所得層を中心に次の通り軽減を行なうこと。

(イ) 基礎控除、配偶者控除、扶養控除をそれぞれ一万円引上げるとともに、給与所得控除については定額控除の引上げ、控除率区分の拡大により控除限度額を二万円引上げること。

(ロ) 専従者控除は家族専従者に対する給与であるのでその限度額を少なくとも青色申告の満二十才以上の場合二〇万円とし、以下これに準じて引上げること。
(ハ) 所得二五〇万円以下について税率を軽減すること。

(3) 輸出に関する税制措置

(イ) 技術輸出所得控除制度を拡大し、海外に進出する建設工事、映画上映等にかかわる輸出所得にこれを適用すること。

(ロ) 輸出品のコスト低減と輸出意欲の促進をはかるため 一般的な制度として、商品の輸出に際し、それに含まれている輸入原材料の関税を還付する制度を実施すること。

(4) 資本蓄積促進のための税制措置

(イ) 資本蓄積が開放経済下従来に比しさらに一層重要であるので、現行の利子所得に対する特別措置はこれを存続するとともに、一定額以下の配当所得につ

お買物に楽しい夢を

全店グリーンスタンプ・サービス

菓子と食堂・食料品

味のデパート

マスクン

相生町本店 TEL 3-1391(代表)

江野町店 TEL 3-1002

最近のわが国経済は、金融引締め措置のもとに輸出の著

日本商工会議所

中小企業の十ヶ月十二期(年末)金融対策に関する要望

- (5) いても分離課税を認めること。
- (4) 民間住宅建設の促進をはかるため、住宅貯蓄に対して一定の条件のもとに所得控除を認めること。
- (3) 中小企業用合理化機械等の特別償却制度についてその対象となる設備の種類、機械および装置の範囲をさらに拡大する(福利厚生施設を含める)とともに、適用期限を少なくとも三カ年延長すること。なお中小企業近代化促進法の特別償却制度は、従業員数三〇〇人以下であれば資本金五、〇〇〇万円を超えるものであってもこれを適用すること。
- 相 続 税
- 現行相続税の税率は、資産の評価が著しく高騰しているものにも拘らず昭和三十三年以来据置かれ、負担過重となっているのでその税率を引下げる。なお、事業資産の相続の場合、相続税支払のため事業の一部処分を余儀なくされる実状にあるので、事業資産について一定限度額の特別控除を認めること。個人の住宅および敷地についても同様とすること。
- 2 地 方 税
- (1) 事 業 税
- (4) 個人事業税の事業主控除を三〇万円に引上げること。
- (3) 法人事業税については、現行の税率の最高一・二%を一〇%とし、以下これに準じて引下げるとともに税率適用区分を拡大すること。
- (2) 電 気 ガ ス 税
- 国民生活ならびに国民経済上、電気ガスに対する課税は甚だしく不合理であるので廃止すべきであるが、市町村の財源上その廃止が困難であるならば、税率を五%に引下げる。

しい好調により、国際収支の改善をみつつあるが、金融引締めの影響のしわ寄せを受けて倒産、不渡手形が増加し、中小企業の資金繰りは甚しく悪化している状況である。全国銀行の総貸出しに占める中小企業向け貸出しの割合は低下しており、一方、政府関係中小企業金融機関の貸付資金は不足が著しく、このままに推移するならば、十ヶ月十二期(年末)の中小企業金融は極度に逼迫する事態に立ち至ることが予想される。

よって政府においては、中小企業の十ヶ月十二期(年末)金融対策について、速かに下記の諸措置を講じ、中小企業金融の確保をはかられんことを要望する次第である。

記

- 1 十ヶ月十二期(年末)金融措置として、政府関係中小企業金融機関に対して九〇〇億円以上の財政投融资の追加(中小企業金融公庫三五〇億円、国民金融公庫二五〇億円、商工組合中央金庫三〇〇億円程度)を行ない、政府関係中小企業金融機関の資金不足と金融逼迫を打開すること。
- 2 民間金融機関における中小企業向け貸出資金の増加をはかるため、四〇〇億円程度の特別買オペを実施する。

◎県中小企業会館建設促進の気運高まる

―来年度着工を目標に―

かねてからの課題であった中小企業者のよりどころとなる、県中小企業会館を建設しようとの空気が急速に盛り上がり、先般来当所保坂会頭提唱のもとに、経済三団体の間で、建設促進委員の人選が進められていたが、この程委員の顔ぶれが出そろったので、九月十一日午後一時から栃木会館に於て第一回建設促進委員会が開かれた。

委員長に保坂県商工会議所連合会長、副委員長に飯島県中小企業団体中央会長、森県商工会連合会長を選んだあと今後の日程について協議した結果、来年度着工を目標に静岡など先進県の視察、入居希望団体との話し合いを進め、早急に建設講想をまとめることになった。

日商だより

第一一一回常議員会開催

- 一、日時 39・9・25日(金)10時~10時30分
- 二、場 所 第一・第二・第三会議室
- 三、出席者 当所より保坂会頭並に藤生専務理事出席
- 四、報告事項
- (1) 昭和39年7・8月業務概要報告
- (2) 昭和39年9・10月事業予定報告
- (3) 第38回経済政策委員会よりの報告
- (4) 第21回税制委員会よりの報告
- (5) 第47回運営委員会よりの報告

- (6) 綜合觀光開發推進会議に関する報告
- (7) 昭和39年度経営指導員研修会実施状況に関する件
- (8) 昭和39年度小規模事業者のための経済および経営に関する講演会実施状況に関する件
- (9) 企業・技術者海外進出希望登録ならびに斡旋状況に関する件
- (10) 全日本推奨土産品審査展示会に関する件
- (11) 全国商工会議所業務概況報告
- (12) 財団法人全国商工会議所共済会業務報告
- (13) 国産品普及向上運動に関する件
- (14) 伯国リオグランデドスール洲企業進出調査報告の件

五、協議事項

- a. 日本商工会議所第20回被表彰者に関する件
- b. 議員総会への提案事項

- (1) 昭和38年度事業報告の件
- (2) 昭和38年度経費収支決算報告の件
- (3) 常議員補欠選任に関する件
- (4) 明年度財政経済政策に関する件
- (5) 税制改正に関する件
- (6) 労災保険法の改正に関する件
- (7) 中小企業近代化資金助成法第12条第1項の規定に基づく都道府県の事業計画作成の基準（昭和38年度）緩和に関する件

- (8) 中小企業集団化助成制度による貸付金の償還期限の延長ならびに貸付金額の増額等に関する要望の件
(松江商工会議所提案)
- (9) 工場集団化資金の償還期間の延長等に関する件
- (10) 信用保証協会出捐金を損金取扱方に関する件
- (11) 昭和四十年以降の公共投資は後進地域を重点に行なうことについて要望の件
- (12) 産炭地振興について要望の件
(九州商工会議所連合会提案)
- (13) 閉山炭鉱地域の売却金の特別保障融資に関する件
(福岡県商工会議所連合会提案)
- (14) 中小企業の10ヶ月12月期（年末）金融対策に関する件

なお、常議員会に引続いて同室にて、10時30分より12時迄、第39回議員総会を開催、少憩の後、東商ホールに於て13時より16時迄第20回通常会員総会が、通商産業大臣ほか来賓各関係大臣の列席を迎え、足立日商會頭挨拶のもとに開催され、当所の保坂會頭が議事録署名人となり、各協議事項提出議案がそれぞれ議決されました。

昭和三十九年度工業実態調査完了す

当所中小企業相談所では、既報のように工業経営の基礎資料として、関係事業所の協力のもとに、市内三六五工場の実態調査を実施してりましたが、九月末日を以て完了致しました。

関東代理店 製造元 地方発売元

糸毛ボウネ
綿
ラフトン
カラフォル
マットレス

宇都宮市今泉町821

佐野音産業株式会社

電話 (3) 2517・(4) 6521

この実態調査は経営合理化の指針とするため、市内の食料品、木工製造工場、出版印刷業等を主体に、九業種の工業所を調査したもので、その内容は労働条件、生産数量、就労人員、出荷先、機械設備、金融機関、資本金、年間販売量、経営組織などを詳細に調査して、県商工労働部宛提出したもので、県では各商工会議所の実態調査をもとに、県内工業の振興策としての、経営合理化の根本方針をまとめ、十一月ごろ各商工会議所宛資料を配布することになっております。

当所の動き

記帳講習会開催

- 一、とき 第1回 39・9・11日 午前10時
- 第2回 39・9・21日 午前10時
- 第3回 39・9・22日
- 一、ところ 宇都宮税務署会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮税務署
- 一、内容 税務継続指導の為の記帳のあり方について
- 一、講師 宇都宮税務署職員 (聴講者 三十六名)

商工青少年研修会開催

- 一、とき 39・9・12・13日 (2日間)
- 一、ところ 栃木県中央青年の家
- 一、主催 当所並に宇都宮市、宇都宮中小企業労働福祉協議会、市商店街連盟
- 一、内容 (1) 商工青少年従業員のあり方
(2) グループによる話し合い
(3) レクリエーションと体育
- 一、講師 労働省婦人少年局 高崎節子氏
年少労働課長補佐



Miyajimacho Utsunomiya

TEL. (2) 3,726-6,021-2,958

木工業振興研究会開催

一、とき 39・9・28日午前10時

- 一、ところ 当所第3会議室
- 一、内容 (1)他都市に於ける団地の概況について (2)当市内他業種の動向について
- 一、講師 宇都宮市商工観光課長 萩原行男氏 (聴講者 十六名)

鉄工業集団化研究会開催

一、とき 39・9・25日午後1時

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮労政事務所
- 一、内容 改正点を中心とした共済制度について
- 一、講師 宇都宮労政事務所長 福田録老氏 (聴講者 七十名)

中小企業退職金共済制度説明会開催

一、とき 39・9・18日午後2時

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮労政事務所
- 一、内容 改正点を中心とした共済制度について
- 一、講師 宇都宮労政事務所長 福田録老氏 (聴講者 七十名)

接客業従業員サービス講習会開催

一、とき 39・9・14日午後1時

- 一、ところ 宇都宮市役所正庁
- 一、主催 当所並に宇都宮市、宇都宮観光協会、市商店街連盟
- 一、内容 (1)サービスのあり方 (2)外客接遇エチケットと日常会話
- 一、講師 (1)日本観光旅館連盟 専務理事 上月木代次氏 (聴講者 八十五名)

宇都宮大学教授 入江信三良氏 (受講者 四十四名)

- 一、ところ 栃木県工芸指導所
- 一、主催 当所並に宇都宮市、宇都宮家具備
- 一、内容 工場集団化の為の工場建設、並に集団工場の運営について
- 一、講師 東京木材工芸研究所 技術士 鈴木太郎氏

商店経営ゼミナール開催

一、とき 39・9・28日午後5時

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮市
- 一、内容 販売革新とパッケージング
- 一、講師 明治大学教授 清水 昌氏 (聴講者 三十名)

一、とき 39・10・6日午後1時30分

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮市
- 一、内容 販売革新とパッケージング
- 一、講師 日本パッケージデザイン協会 理事長 高橋満寿男氏 (聴講者 二十名)

栃木県技能競技大会開催要領説明会開催

一、とき 39・10・5日午前10時

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当 所
- 一、内容 昭和39年度中期栃木県技能競技大会開催要領について
- 一、講師 県職業訓練課 山本 技師 (聴講者 十一名)

工場板金関係学科受験準備講習会開催

一、とき 39・10・11日午前9時

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当 所
- 一、内容 技能競技大会工場板金の学科について
- 一、講師 栃木県総合職業訓練所 矢島孝淳氏 (聴講者 二十七名)

労務管理講習会開催

一、とき 39・10・28日午後1時30分

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮市
- 一、内容 初任給の上昇と賃金対策について (聴講者 五十一名)

一、とき 39・11・4日午後1時

- 一、ところ 当所並に宇都宮市
- 一、内容 新しい労使関係をどう考えるべきか
―その問題点と対策―

一、講師 日本経営者団体連盟

法規部長 近藤富士雄氏

(聴講者四十五名)

十一月各種講習会開催のお知らせ

企業経営の合理化と、御事業の繁栄を図るため、次のとおり講習会を開催しますので、ぜひ皆様が、多数御参加下さるようお願い致します。

記

(一) 実務簿記講習会

- 一、とき 39・11・11日(3日) 毎日午後1時30分より
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮青色申告会
- 一、内容 実務を中心とした簿記
- 一、講師 経営管理士 中村秀司氏
- 一、対象 商店、会社事業所経理担当者又は一般

(二) 中小企業経営講習会

- 一、とき 39・11・18日午後1時より
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並に宇都宮市
- 一、内容 税金、財産管理、販売の促進と労務問題を中心に中小企業の在り方について
- 一、講師 日本経営コンサルタント協会長 池見 猛氏
- 一、対象 商店、会社事業所経営者又は担当者

第2次「青少年対策3」か年重点施策」の推進について

栃木県青少年問題協議会

青少年非行が年を追って増加するすう勢にあることと、次代になう青少年の健全育成をはかるため、県青少年問題協議会では、次のとおり、第2次「青少年対策3」か年重点施策」を決定し、今後関係機関団体が常に緊密な連絡提携をはかりながら、積極的にこの問題と取り組み、青少年対策を強力に推進することになりました。

つきましては本重点施策の推進について、各御事業所におかれましては、青少年従業員に対し、施設の整備充実等に積極的な御配慮を願うとともに、その指導、育成に一層留意され、本運動の効果を高めるよう、格段の御協力をお願い致します。

記

- 1 地域における関係機関、団体の有機的組織活動を促進する。
- 2 明るい家庭づくりを推進する。
- 3 青少年をとりまく社会環境を整備する。
- 4 公徳心の高揚をはかる。

楽しいくらしのお買ものは



勤労青少年の健全な育成をはかる。
「少年非行集団対策」を推進する。

当所新規会員の御紹介(敬称略)

福 77ダヤ うつのみや TEL (3) 2141

業種	住所	氏名
クリーニング	吉野町二丁目	田代クリーニング商会
洋服縫製	伝馬町三〇六	(有)ニコースタイル・大野
冷凍機販売業	押切町八四	(有)城東機械工業所
遊技場	川向町五五	丸善遊技場
文房具小売業	〃 六五	新部商店
遊技場	〃 六五	坂本遊技場
〃	〃 七三	駅前クラブ
飲食業	〃 七四	雪屋食堂
菓子小売業	〃 七四	薄井商店
遊技場	〃 七五	麗都パチンコ
菓子小売業	〃 七五	うるが商店
果実小売業	〃 七五	恵比寿屋果物店
金融業	東峰町三〇六	(株)足利銀行峰町支店
板金業	上横田町一〇四	(有)広田板金工場
青果業	蒲生町二〇二	阿美文雄
婦人服縫製業	旭二町三四九	(有)モードサロン渡辺
青果業	曲師町三〇五	(有)八百善商店
菓子小売業	江曾島町二、三	猪瀬商店
電気工事業	東浦町一、二九	関電気商会
製菓機械販売	野沢町二〇三	レオン自動機(株)

営業品目 製氷・冷蔵・恒温装置・アンモニアフロン
メチル冷凍機並に附属品製作販売
アルゴン熔接ショーケース
工事一切請負

有限会社 城東機械工業所

営業所 宇都宮市押切町841
工場 宇都宮市宮原町914-45
電話 (4) 2451 (代)
(3) 0086 (工場)



◎宇都宮手形交換高 (単位千円)

年	月	手形枚数	金額
三十九年八月	九月	五〇、六二七	一六、三二二、八九五
三十九年九月	九月	五二、一〇八	一五、八八八、四八七

◎不渡手形

年	月	手形枚数	金額
三十九年八月	九月	六二七	五一、六一五
三十九年九月	九月	六五二	七九、〇七〇

◎宇都宮銀行会(八行加盟)預金貸付高

年	月	預金	貸付
三十九年八月	九月	四八、六一六、二一八	三三、〇六五、四八〇
三十九年九月	九月	五〇、四八八、四一〇	三二、五〇九、〇三〇

◎宇都宮中小商工業施設改善及
従業員宿舍建設資金融資状況

年	月	摘要	件数	金額
三十九年九月	十月	承申込認分	二二〇〇	一〇〇、六五〇、〇〇〇
三十九年九月	十月	承申込認分	一一四六	一〇、三〇〇、〇〇〇

◎宇都宮市中小企業互助会連
資金状況

年	月	摘要	件数	金額
三十九年九月	十月	承申込認分	三四八〇	一〇、二六〇、〇〇〇
三十九年九月	十月	承申込認分	三三九	一〇、八七〇、〇〇〇

第十八回計算尺技能検定試験結果発表

日時 39・9・27日9時
場所 宇都宮工業高等学校

級別	申込数	欠数	受験者数	合格数	満点数
一	一六	〇	一六	〇	一・〇〇
二	一一一	一一	一〇〇	三一	一・三一
三	一九八	一〇	一八八	八〇	二・四二
四	三三三	一一	三二二	一〇	三・三一
合計	三五八	二二	三三六	一一一	三・三六

第五十二回珠算能力検定試験結果発表

日時 39・10・25日9時
場所 宇都宮市立旭中学校

級別	申込数	欠数	受験者数	合格数	満点数
一	八〇	二	七八	一一	〇・一四
二	五〇七	八七	四二〇	四〇	〇・九五
三	一、六六五	二三八	四二七	五〇四	三・三五
四	一二七	一九	一〇八	四二	〇・四一
五	五六	四	五二	三二	一・六一
六	九六	三	九三	四九	一・五二
合計	二、五三一	三三	二、一七八	六七八	五・三一

お宅の

- ★引込線がテレビアンテナや、煙突、樹木にふれてはいませんか。
- ★引込線は裸線になつてはいませんか。
- ★屋内の配線がタコ足配線になつてはいませんか。

このようなときには、すぐお近くの東電にお知らせ下さい。(東京電力・栃木支店より)

学卒者の採用を決してあきらめずに

まず、求人の中込みを

求人難の声の強さから、一般商店、事業所の方々が、中学、高校卒の新規採用は、あたまから無理であると、御自分でおきめになつて、職業安定所へのお申込みを、あきらめておられる方が、たくさんおられるようですが、安定所の話では、決してそうばかりとは言えません。現に中卒者の就職斡旋取扱いは、この11月6日から開始されることになっております。

皆様の事業所にとって、将来どんなにかお役に立つすぐれた学卒者が、或はおるかも知れません。

年々就職希望者の少なくなつてきておることは事実です

が、ただ、あきらめておられずに、まず求人申込みの手続きを、ともかく早くなさってはいかがでしょうか……。
結果的にあの時申込んでおいてよかったと言う、皆様の嬉しいお言葉を、必ず頂けることを心から期待しておすめ致します。

(39・10・8日当所にて開催商業小売、文化合同部会に於ける、職業安定所係官の説明会記録より)

中小企業（特別）小口資金融資の

お知らせ

宇都宮市においては去る十月一日より、これ迄の互助会取扱いの融資金以外に、さらに中小企業特別小口資金として、次の要領にて融資の取扱いを実施することになりました。

御事業に必要な運転資金として、皆さんの御利用をおすすめ致します。

一、融資の資格

市内に住所又は事業所を有する個人商工業者の方

二、融資の条件

1 融資金額 1業者につき10万円以内

2 資金使途 商品材料等の仕入資金

3 融資期間 6ヶ月以内

4 返済方法 月賦償還

5 利率 年8分(日歩2銭2厘)

6 保証料 保証料は市で全額補助

7 利子補給 市で年3分補助

8 保証人 1名以上

9 担保 不要

10 金融機関 信用金庫・栃木相互・栃中債

三、融資の申込

a. 宇都宮市中小企業互助会(当所内) T・(3)3074

b. 宇都宮市経済部商工観光課 T・(2)8111

◎当所事業運営の基盤を生む

各種開催会議経過詳細

(一) 商業卸部会

一、とき 39・8・26日 13時～15時

一、ところ 第1会議室

一、出席者 安久津・笠間副部長・宇塚至誠堂・飯島合

資会社・南和商事・三和商店・杉村塗料・山

田屋商店・カネボウ栃木販売・玉川屋商店・

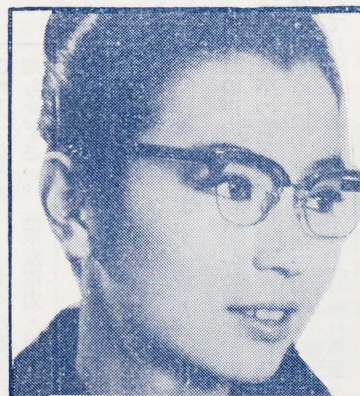
岩崎産業・丸エス繊維・資生堂宇都宮販売・

升藤商店・福田羅紗店・不二屋商店・安齋商

店・大貫紙店・関東青果市物・矢野新商事・

紅屋商店

个性的な
メガネのおしゃれ



サカモトメガネ

本店・第一銀行前 支店・オリオン通り西口

一、協議事項

卸売商業集団化について

(二) 運営委員会

一、とき 39・9・4日 11時～13時

一、ところ 第3会議室

一、出席者 石海・粕谷・鈴木(善)正副委員長・横倉・野

沢・渡辺(愛)・木村委員

高橋・荒牧副会頭(臨席)

一、協議事項

(1) オリジナル東京大会関東募金について

(2) 小売商業調整特別措置法について

(三) 常議員会

一、とき 39・9・9日 13時半～15時半

一、ところ 第3会議室

一、出席者 保坂会頭・荒牧副会頭・渡辺・粕谷・横倉・

野沢・柳田・福田(富)・青木・坂本・設楽・

鈴木(善)・鈴木(良)常議員・野中・上野監事

一、議案

報告事項

(1) 6・7・8月当所事業報告について

(2) 二階ホールの中小企業金融公庫への賃貸契約につい

て

第1号議案 9月～10月当所事業予定について

第2号議案 オリジナル東京大会関東募金について

第3号議案 中小企業会館建設計画について

(四) 建設部会

一、とき 39・9・29日 14時～15時

一、ところ 第1会議室

一、出席者 渡辺(愛)・小花副部長・協和機興・横山建

設・藤井産業・スパンクリート製造・大和工

業・須賀工業

臨席者 鈴木(善)・粕谷両常議員

一、協議事項

(1) 部長互選について

・(増)増淵組取締役社長増淵寅一氏選出さる。

(2) 昭和四十年事業計画について

◎閉会后栃木県職業訓練課渋江係長より、本年度栃木県技能競技大会開催についての説明ありたり。

(五) 運営委員会

一、とき 39・10・1日 14時～16時

一、ところ 第3会議室

一、出席者 石海・粕谷・鈴木(善)正副委員長・野沢委員

臨席者 末永市議会議長・同鈴木議員

一、協議事項

オリンピック関東募金完了に伴う当所よりの記念品調製について

◎閉会后末永市議会議長を囲み、労務需給調整の問題について打合会をなせり。

(六) 商業小売文化合同部会

一、とき 39・10・8日 14時～16時

一、ところ 第1会議室

一、出席者 (商業関係) 福田(寛)部会長・春日屋商店・東武百貨店・上田屋商店・男子専科イシイ・米山洋服店・文明軒

(文化関係) 岩田・粕谷正副部会長・魚樂荘

千両本店・丸メ本店

臨席者 荒牧副会頭・鈴木(善)金融副部会長

宇都宮公共職業安定所係官2名

一、協議事項

(1) 秋まつり開催行事案について

楽しいのべ くらしの道



うつのみや



TEL (02)1151(大代表)

(2) オリビック商業道徳高揚運動について

(3) 明年度両部会事業計画について

◎閉会后職業安定所係官より、来春中高卒者求職需給状況について説明ありたり。

(七) 金融部会

一、とき 39・10・9日 14時～16時

一、ところ 第3会議室

一、出席者 鮎田・鈴木(善)正副部会長・常磐相互銀行・栃木相互銀行・足利銀行市内各支店(5名)

下興証券

臨席者 保坂会頭

一、協議事項

(1) 副部会長互選について

・下興証券取締役社長中原博愛氏選出さる。

(2) 年末金融対策について

(3) 明年度事業計画について

(八) 議員懇談会

一、とき 39・10・12日 15時～17時

一、ところ 第1会議室

一、出席者 保坂会頭・荒牧副会頭・渡辺(愛)・福田(寛)坂本・鮎田(代)・設楽・鈴木(善)常議員・笠原監事・渡辺(三)・小倉・笠間・河合・中村(芳)・植木・福田(新)・中原・赤塚・坂井議員

臨席者 中小公庫宇都宮支店長並に安井次長

一、懇談事項

(1) 中小企業金融公庫業務内容説明について

(2) 秋まつり開催行事案について

(3) 明年度事業計画について

(九) 商業活動調整協議会委員会

一、とき 39・10・22日 14時～16時

一、ところ 第3会議室

一、出席者 萩原省吾・甲斐キョ・樋山ヨシ・柳田広・粕谷松一郎・青木源吉・上野修二郎・荒牧春三

臨席者 鈴木善助・福田富次郎

一、議案

(1) 正副会長選任について

(2) 商業小売部会申入れの十字屋問題について

◎正副会長に高橋栄作・萩原省吾の両氏選任さる。

◎宮の秋まつり開催のお知らせ

宇都宮市の本年最後の秋を飾る、恒例「宮の秋まつり」

は、宇都宮市の隣接町村合併十周年記念行事と併せて、錦秋の十一月十九日より廿五日迄の（日祭日を含んだ）一週間躍進宮の秋まつりとして、華々しく開催される予定にて、目下各関係方面と折衝、行事予定の内容について、よりより検討致しておりますが、だいたい、中心部のみのまつりに終ることなく、合併町村を含めた宇都宮市全市を挙げての大きな行事を計画、連合福引大売出しも賞品に普辺性を持たせ、特に未等賞品に重点を置き、各参加商店の売上げ増進をねらう等、躍進宇都宮の名にふさわしき、画期的な行事内容を事務局に於て、現在立案致しておりますので、会期中皆様の絶大な御協力をお願いすると共に、その成果に大いに御期待下さるようお知らせ致します。

松下電器産業㈱建設用地について

市当局へ要望書提出す

過般当所にて開催の、運営委員会に於て提案議決されたる、市内中心部繁華街圏内（旭町一〜三、四三一番地）所在の同社建設用地に対する、工事着工促進方について、会頭名を以て市当局宛要望書を提出致しました。

事務局日誌

八月

- 廿一日 宇都宮市農業労働調整協議会開催 十時 市役所正庁 藤生専務理事出席
- 〃 宇都宮市中小工業機械設備資金融資審査会開催 十時 市役所議員第三控室 藤生専務理事出席
- 廿二日 東武地区夏まつり決算報告及び反省会開催 四時 東武デパート五階小ホール 藤生専務理事 新部指導員出席
- 廿四日 栃木県商工会議所連合会経営指導員事務連絡会議開催 十時 みくら山会館 小川指導員出席
- 廿六日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席
- 〃 当所商業卸部会開催 一時三十分 当所第一会議室 笠間副部長他二十三名出席
- 廿八日 栃木県商工会議所連合会正副会頭会議開催 十時 みくら山会館 高橋副会頭 藤生専務理事 星事務局長出席
- 〃 宇都宮電報電話局中河原分局落成披露式開催 一時 保坂会頭 高橋副会頭出席
- 卅一日 栃木県新生活推進協議会研究会開催 栃木会館第四会議室 小川・亀田指導員出席

長崎かすてら
洋菓子

はせ内

本店 宇都宮市西1丁目5番18号
TEL (3) 5451-2
支店 宇都宮市小袋町619

- 〃 中小企業金融公庫舟山総裁一行を囲む懇談会開催 四時 中村 保坂会頭 高橋副会頭出席
- 〃 九月 中小企業金融公庫開設披露パーティー 二時三十分 栃木会館レストラン三笠 星事務局長 小川次長出席
- 二日〜三日 第九回茨城・栃木両県商工会議所交流会開催 川治温泉柏屋ホテル 高橋・荒牧副会頭 星事務局長出席
- 四日 当所運営委員会開催 十一時 当所第三会議室 石海委員長他八名出席
- 〃 当所議員古谷光雄氏送別会開催 五時 中村 古谷氏他二十八名出席
- 〃 宇都宮地区青色申告普及育成協議会役員会開催 一時 税務署 星事務局長出席
- 五日 パンバ市営ビル商店街内中央食品市場開場式開催 午前九時 観光食堂 星事務局長出席
- 七日 宇都宮市町界町名地番整理審議会開催 十時 市役所議員第三控室 藤生専務理事出席
- 九日 当所常議員会開催 一時三十分 当所第三会議室 保坂会頭他十四名出席
- 十日 下興証券㈱取締役社長中原博愛氏新任挨拶来所 中小企業会館建設準備委員会幹事会開催 一時 栃木会館電気局会議室 藤生専務理事出席
- 十二日 神戸市商店街婦人連合会当地商店街視察来所 十時 一六四名
- 十四日 宇都宮市中小工業機械設備資金融資審査会開催 十時 市役所公室前室 藤生専務理事出席
- 〃 接客従業員サービス講習会開催 一時 市役所正庁 藤生専務理事 星事務局長出席

★暮しの夢を

2倍に生かす奉仕店★

紳士服

婦人服

子供服

なら



衣料のデパート
タテノ

宇都宮・オリオン通り

十五日 ラジオ栃木番組審議会開催 十一時 ラジオ栃木

会議室 藤生専務理事出席

宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催

十時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 一時

当所第三会議室 藤生専務理事出席

十六日～十九日 栃木県商工会議所連合会専務理事・事務

局長研修会開催 青森方面 星事務局長出席

十七日 観光事業振興推進委員会総合観光開発推進会議開

催 十時 東商スカイルーム 藤生専務理事出席

十九日 関東弁護士会連合会定期大会開催 一時 栃木会

館 藤生専務理事出席

廿一日 水戸商工会議所工業部会当地工場団地視察来所

十一時 二十名

廿五日 日商第一一回常議員会開催 十時 東商スカイ

ルーム 保坂会頭 藤生専務理事出席

日商第三十九回議員総会開催 十時三十分 東商

スカイルーム 保坂会頭 藤生専務理事出席

日商第二十回通常会員総会開催 一時 東商ホー

ル 保坂会頭 藤生専務理事出席

廿六日 東京電力(株)栃木支店サービス懇談会開催 十時

東電会議室 藤生専務理事出席

廿八日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時

当所第三会議室 藤生専務理事出席

廿九日 栃木県宇都宮保健所昭和三十九年度第二回食品衛

生優良店舗選定審査会開催 十時 宇都宮保健所

長室 星事務局長出席

第十一回宇都宮市スポーツ振興審議会開催 十時

市役所公室前室 藤生専務理事出席

当所建設部会開催 一時三十分 当所第三会議室

小花副部長他九名出席

十月

一日 当所運営委員会開催 二時 当所第三会議室 石

海委員長他八名出席

二日 栃木県商工会議所連合会定例専務理事・事務局長

会議開催 十時 みくら山会館 藤生専務理事出

席

三日 宇都宮家具商工業組合定時総会懇談会開催 五時

三川屋 星事務局長 小川次長出席

六日 第九回宇都宮市住居表示審議会開催 十時 市役

所公室 藤生専務理事出席

七日 沼田商工会議所当地商店街視察来所 一時 十五

名

八日 竜ヶ崎商工会青年部員当市オリオン通り商店街視

察来所 一時三十分 十名

九日 当所商業小売並文化両部会合同部会開催 一時三

十分 当所第一会議室 荒牧副会頭他十三名出席

十日 当所金融部会開催 二時 当所第三会議室 保坂

会頭他十名出席

十一日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催

一時 当所第三会議室 藤生専務理事出席

十二日 当所議員懇談会開催 三時 当所第一会議室 保

坂会頭他十八名出席

十三日 宇都宮五の日の八周年記念開催 十一時 栃木会

館 荒牧副会頭 藤生専務理事出席

十四日 宇都宮市中小企業互助会融資審査会開催 十時

当所第三会議室 藤生専務理事出席

十五日 名鉄運輸(株)宇都宮支店落成披露式開催 一時 藤

生専務理事出席

十六日 ミリオン通り商店街々路灯光灯式開催 四時 西

小学校講堂 荒牧副会頭出席

十七日 関東商工会議所連合会経営指導員研修会

開催 甲府山脈荘 渡辺指導員出席

十八日 第五回宇都宮物産観光展開催 山形市丸

久百貨店

十六日 第七回栃木県屋外広告物審議会開催 十時 県正

庁 石海常議員 星事務局長出席

二十日 栃木県商工会議所連合会臨時専務理事・事務局長

会議開催 十時 農協会館第三会議室 星事務局

長出席

廿一日 宇都宮市住居表示審議会開催 十時 市役所公室

藤生専務理事出席

廿二日 宇都宮市中小工業機械設備資金融資審査会開催

十時 市役所公室前室 藤生専務理事出席

廿三日 栃木県食品工業協会実行委員会開催 一時 食品

工業指導所 新部指導員出席

小売物価調査報告表

(昭和三十九年十月現在)

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格			
穀類・粉製品	うるち米(配給)	1kg	93.50	野菜・果実	大根	1kg	40	畜産食料品	牛肉	100g	65	加食料工品	竹輪	100g	10			
	"(非配給)	"	118		キャベツ	"	80		豚肉	"	80		加工料工品	たくあん	"	8		
	"(外米)	"	—		ねぎ	"	70		牛乳	180cc	16			菓子	ビスケット	1包	100	
	"(準内地米)	"	83		玉ねぎ	"	25		鶏卵	1本	20		嗜好品		キャラメル	1函	20	
	もち米	"	120.50		りんご	"	70		バター	1函	180			嗜好品	ドロップ	100g	25	
	精麦	"	60		みかん	"	100		調味料	醤油	1本		205		嗜好品	せんべい	"	33
	小麦粉	"	60		まぐろ	100g	15			味噌	1kg		95	嗜好品		清酒	1本	485
	小豆	100g	16		さば	"	9			化学調味料	1かん		190		嗜好品	ビール	"	115
	食パン	"	10		いわし	"	17			砂糖	1kg		150	嗜好品		焼酎	"	345
	干うどん	"	6		いか	"	15			食用油	1ℓ		180		嗜好品	ウイスキー	"	300
野菜果実	かんしょ	1kg	50	塩さけ	"	55	加食料工品	豆腐		100g	6	嗜好品	ジュース	"		300		
	ばれいしょ	"	30	煮干	"	35		油あげ		"	30		嗜好品	緑茶	100g	40		
嗜好品	紅茶	1かん	150	織維品	作業服	1着		1,900		燃料	木炭	1俵		600	雑品	洗濯せっけん	1袋	450
		たばこ(いごい)	1函		50	男子メリヤス		1枚			200	まき	1束	70		雑品	クリーム	1個
	織維品	晒木綿	1m		26	男子ワイシャツ		"			800	石炭	1仄	170			雑品	新聞
		ポプリン	"		90	男子くつ下		1足	180		れん炭	1袋	300	雑品		男子革靴		1足
		キャラコ	"		85	婦人くつ下		"	400		ガソリン	1ℓ	48			雑品	運動靴	"
		ネル地	"		90	毛糸打綿		500g	1,500		家庭用機械器具	テレビ	1台	52,000			雑品	げたた
	サージ	"	1,380		杉角材	1立方m		24,000	電気洗濯機			"	23,000	雑品		ちり紙		100枚
	オーバー地	"	—		杉板材	1平方m		180	電球			1個	55			雑品	ノート	1冊
	富士絹	"	350		セメント	1袋	360	自転車	1台			16,000	雑品	飯茶わん			1個	20
	ナイロンサージ	"	225		くぎ	100g	7	ミシン	"			28,000		雑品		なべ	"	490
男子背広服	1着	10,000	畳表	1枚	430	時計	1個	4,500	雑品	マッチ		1袋(10箱)	35					
男子学生服	"	3,600	板ガラス	"	60	雑品	感冒薬	1箱(25錠)		120		雑品	鉛筆	1本	10			

宇都宮の全商工業者は一人残らず

会員倍加運動実施中

商工会議所の会員になりましょう

◇商工会議所は夫々の地域の経済発展を目指して事業を図っています。
◇商工会議所は商工業者のサービスマシーンです。
◇商工業者の世論を商工会議所に集めましょう。